

第4回南砺市合掌造り家屋保存活用検討委員会 議事録（要旨）

日時 2020年（令和2年）3月17日（火） 10:00～12:00

場所 南砺市役所城端庁舎 202 会議室

出席 以下12名

検討委員 上野委員長、北副委員長、蜂谷委員、大氏委員、蟹谷委員、藤井委員（6名）

事務局 ブランド戦略部 芝井部長

交流観光まちづくり課 米澤課長、荒井係長、嶋田主任

文化・世界遺産課 長島囑託

㈱菅建築設計事務所 山崎（6名）

○開会・委員長あいさつ

- ・上野委員長のあいさつ

○合掌造り家屋保存活用の検討について

- ・前回の振り返りを説明

■建築基準法に関する検討

○構造強度

- ・構造耐力（法20条、令36条）（決定）

⇒限界耐力計算等で安全性を検討。

- ・基礎（令38条）（決定）

⇒適正な基礎を設置。

- ・土台及び基礎（令42条）（決定）

⇒限界耐力計算等で安全性を検討。

■指針に関する検討

○耐震診断結果に基づく構造補強の実施（決定）

○類焼火災（もらい火）による対策（決定）

○二方向避難対策（決定）

- ・面積に関係なく二方向避難を確保すること。⇒後日修正。

○改修のイメージ図（決定）

- ・改修工事の図を追加する。⇒後日追加。

■金沢工業大学による研究委託の報告事項

○ポイント

- ・現地調査や重量算定、限界耐力計算を一連の作業を行ない、マニュアル化。
- ・合掌造り家屋は土壁がなく、板壁と軸組で構成されているため、限界耐力計算のクライテリアを一般的な伝統木造建物の稀地震 1/120 (rad)、極稀地震 1/20 (rad) から、稀地震 1/90 (rad)、極稀地震 1/15 (rad) としている。
- ・ウォールスタットによる検討は屋根ふき材の緊結が不明であるため難しい。

○今後の予定

- ・（公財）松井角平記念財団への研究助成を申請中。荒縄接合部、合掌と梁の接合部、板壁のモデル化を研究。研究データに基づき、ウォールスタットによる解析を行なう。

■その他の検討

- ・今後のスケジュール（決定）

⇒令和2年の6月議会に上程する。

○閉会

- ・芝井部長のあいさつ